

### 旅行取扱状況の概観（平成18年1月分）

海外旅行の取扱額をみると、団体旅行では学生団体が取り扱い好調で大幅増となったが、一般団体の取り扱いが大きく落ち込んだため、団体計は前年実績を大幅に下回った。企画旅行はホリデイの取り扱い低調により、前年実績に届かなかった。個人旅行も海外航空券等の取り扱いが不振で、前年実績には達しなかった。

海外旅行合計は、取扱構成比の大きい企画旅行が不振、個人旅行の取り扱いも低調で、前年比93.1%と前年比マイナスとなった。

国内旅行の取扱額をみると、団体旅行では一般団体が取り扱いを拡大し好調、学生団体もほぼ前年並み実績を確保したため、団体計は2ヶ月ぶりの前年比プラスとなった。企画旅行はメイトの取り扱い低迷により、前年実績を下回る結果に終わった。個人旅行はJR券、宿泊券、航空券の取り扱いがいずれも不振で、前年実績に達しなかった。

国内旅行合計は、海外旅行同様に取扱構成比の大きい企画旅行の低調、個人旅行の不振により前年比95.4%と前年実績を下回った。

外人旅行は、取扱絶対額の少ない月ではあるが久しぶりに取り扱いが伸びず、前年比71.1%と前年実績を下回った。

以上の結果、1月の総取扱額は前年比94.3%と前年実績を下回るスタートとなった。

#### 1. 海外旅行

##### (1) 団体旅行

一般団体は、取扱絶対額の少ない時期ではあるが、イベント関係は好調に推移したものの、その他団体の取り扱いが減少し、9ヶ月連続の前年比マイナスと明るさが見えない。一方、学生団体は海外研修等の取り扱い増等により大きく前年実績を上回り、3ヶ月ぶりの前年比プラス。方面別の取り扱いでは、各方面とも前年実績を下回り、韓国の前年並、ミクロネシアおよび前年激減の反動からタイが大きく伸びたのが目立った程度であった。

##### (2) 企画旅行

ホリデイは、正月の日並びが良くないことも影響し、取扱額前年比で95.2%と4ヶ月連続での前年実績割れと低調な状態が続いている。方面別取り扱いでは、台湾が好調、ハワイ、アメリカも前年をオーバーし、前年スマトラ沖地震の反動によりタイ、シンガポールが大きく前年実績を超えた。

#### 2. 国内旅行

##### (1) 団体旅行

一般団体は、イベント関係の取り扱い好調、およびその他団体の取り扱い堅調により前年実績を上回った。学生団体は、修学旅行の取扱いは少なかったが研修・校外学習等の取り扱いが堅調で、ほぼ前年並みの実績を確保した。

##### (2) 主催旅行

メイトは、今月も取り扱いに伸びが見られず前月に引き続いて前年比マイナスとなった。商品別の状況では、近場商品の取扱いは堅調であったが、北海道、九州、沖縄の遠距離方面が低調であった。